

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)

【公表番号】特表 2005-528240 (P2005-528240A)

【公表日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)

【年通号数】公開・登録公報 2005-037

【出願番号】特願 2003-581971 (P2003-581971)

【国際特許分類】

B 3 2 B 37/20 (2006.01)

B 2 9 C 65/02 (2006.01)

B 3 0 B 3/00 (2006.01)

B 6 5 H 27/00 (2006.01)

B 2 9 L 7/00 (2006.01)

B 2 9 L 9/00 (2006.01)

B 2 9 L 31/34 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 31/08

B 2 9 C 65/02

B 3 0 B 3/00 B

B 6 5 H 27/00 Z

B 2 9 L 7:00

B 2 9 L 9:00

B 2 9 L 31:34

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 および第 2 のローラを備え、該第 1 および第 2 のローラが本質的に平行であり、該第 1 および第 2 のローラが、間隙幅を有する間隙をそれらの間に画定するようになっている、装置において、

剛性の間隙形成ブロック本体と、該間隙形成ブロック本体に回転可能に取り付けられた 4 つ以上の負荷ホイールとを有する、少なくとも 1 つの間隙形成ブロックを備え、

前記間隙形成ブロックは、前記第 1 のローラと前記第 2 のローラとの間に配置されて、少なくとも 2 つの前記負荷ホイールが、該第 1 および第 2 のローラの各々に接触するようになっている、それにより該間隙形成ブロックが、最小間隙幅を決定してそれを維持すること、

を特徴とする装置。

【請求項 2】

前記ローラの各々は、該ローラが半径 r_p を有する少なくとも 1 つのプレスゾーンと、該ローラが半径 r_g を有する少なくとも 1 つの間隙形成ブロックゾーンとを備え、前記間隙形成ブロックの前記負荷ホイールが前記間隙形成ゾーンで前記ローラと接触し、該半径 r_p が該半径 r_g よりも大きく、

前記間隙形成ブロック本体は、前記第 1 のローラと前記第 2 のローラとの間の前記間隙

幅の測定に平行な方向へ測定された前記間隙形成ブロック本体の線形寸法としての間隙形成ブロック本体幅を有し、該間隙形成ブロック本体が、該間隙形成ブロック本体幅を調整する手段を有する、
請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

2 つ以上のシート材料を、積層装置の第 1 のローラと第 2 のローラとの間の間隙に同時に通すことによって、互いに積層する方法であって、該第 1 および第 2 のローラが本質的に平行であり、該第 1 および第 2 のローラが、間隙幅を有する間隙をそれらの間に画定するようになっている、方法において、

前記第 1 のローラと前記第 2 のローラとの間に、剛性の間隙形成ブロック本体と該間隙形成ブロック本体に回転可能に取付けられた 4 つ以上の負荷ホイールとを有する間隙形成ブロックを、少なくとも 2 つの負荷ホイールが該第 1 および第 2 のローラの各々に接触するように配置し、それにより該間隙形成ブロックが、最小間隙幅を決定してそれを維持するようにし、

前記第 1 のローラと前記第 2 のローラとの間に、2 つの前記間隙形成ブロックを、それら間隙形成ブロックの各々の前記少なくとも 2 つの負荷ホイールが該第 1 および第 2 のローラの各々に接触するように配置し、それによりそれら間隙形成ブロックが、最小間隙幅を決定してそれを維持するようにし、それら 2 つの間隙形成ブロックを、所与の間隙長さだけ互いに離隔させること、
を特徴とする方法。

【請求項 4】

2 つ以上の負荷ホイールが回転可能に取付けられる第 1 の間隙形成ブロック本体要素と、

2 つ以上の負荷ホイールが回転可能に取付けられる第 2 の間隙形成ブロック本体要素であって、該第 2 の間隙形成ブロック本体要素が前記第 1 の間隙形成ブロック本体要素に、間隙形成ブロック本体幅の方向へのそれら 2 つの要素の相対的な直線運動を可能にするように組合わされ、そのように組合わせたときに、いずれか一方の間隙形成ブロック本体要素の少なくとも 1 つの表面が、他方の間隙形成ブロック本体要素の対向する表面に対して傾いている、第 2 の間隙形成ブロック本体要素と、

前記傾いた表面と前記対向する表面との間に配置されたウェッジと、

前記傾いた表面と前記対向する表面との間で前記ウェッジの位置を定め、それにより前記間隙形成ブロック本体幅を決定する調整ねじと、
を備えることを特徴とする間隙形成ブロック。